

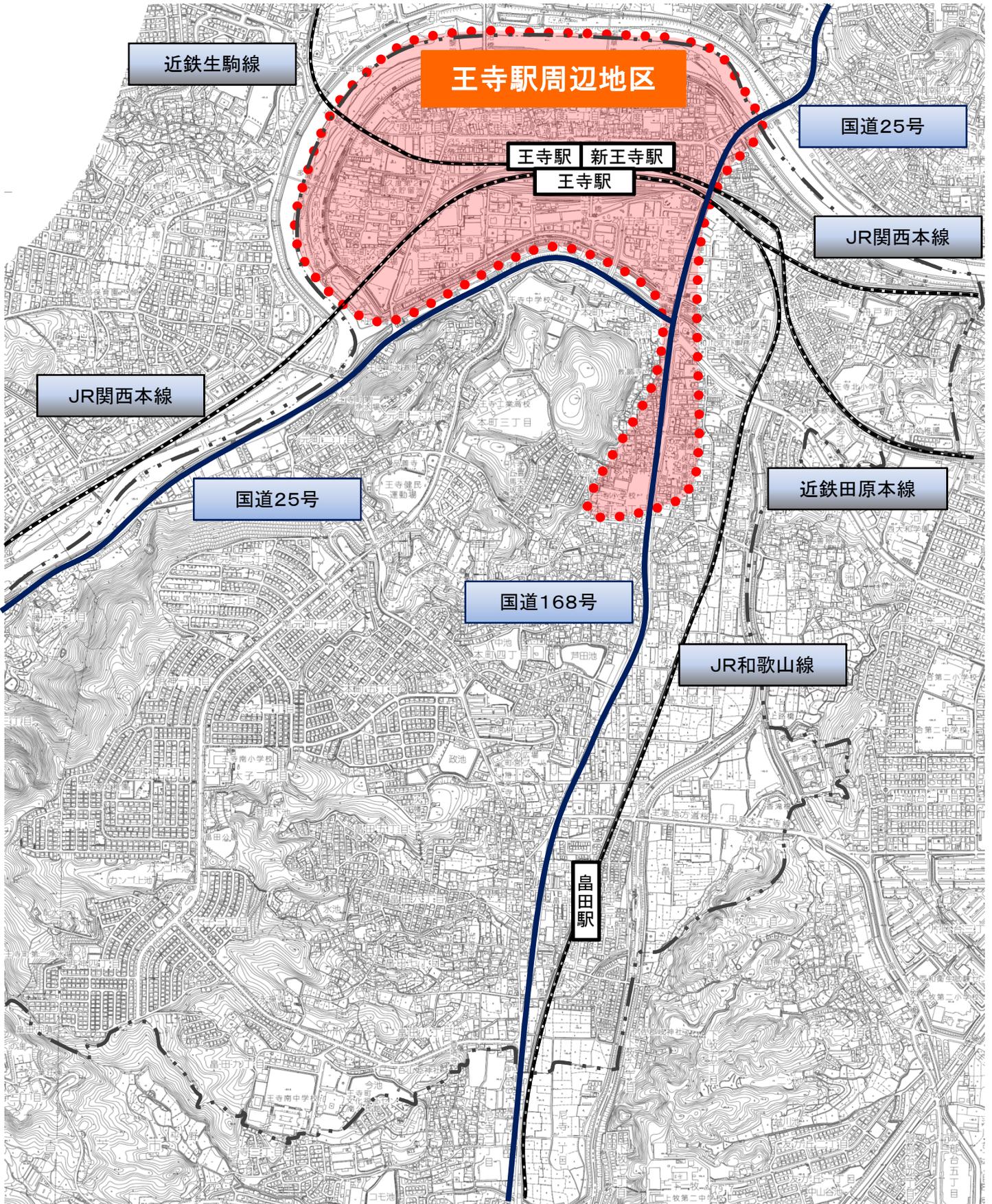
王寺町のまちづくりについて



平成28年 8月18日
王 寺 町



位置図



王寺駅周辺地区のまちづくり

現況と課題

- 駅北側では、区画道路が狭あいで、老朽化した住宅密集地が広がっている。
- 中央公民館が老朽化しており、今後の活用方針について検討が必要。
- 駅南側では、区画整理事業から30年余りが経過し、建物全体に老朽化が進展しているとともに、駐車場としての利用も目立つ。
- 駅南側のバスターミナルは狭く、待合等の公共施設が確保されていない。
- 駅周辺において、過去に浸水被害が発生している。
- 県外就業率約46%は県内第2位と高い。
- 法隆寺や信貴山等の観光資源と王寺駅を連携するバス路線は設けられているが、滞在型観光を進めるための宿泊施設がない。
- 国道168号の4車線化が進むなか、国道25号は2車線で「地域の主要渋滞箇所」となっている。

まちづくりのコンセプト

「ひと」が集い、にぎわいあるコンパクトな『まちづくり』

奈良県の西和地区の拠点として、公共交通の結節点でもある「王寺駅」の周辺部で都市機能の集約を図り、にぎわいある中心市街地の形成を図る。

取組のイメージ

■ 駅周辺部での都市機能の集約

- 街区の再編や高さ規制の緩和による低未利用地の有効活用
- 新たな商業・業務(起業支援、テレワーク等)・居住・医療・福祉機能の集積
- 王寺駅電車留置線部を含む駅周辺の再整備の検討

■ アクセス機能の強化

- 国道25号の整備効果の検討
- 国道168号の無電柱化の推進

■ 滞在型観光による賑わいの創出

- 拠点ターミナルの立地環境を活かした宿泊施設の誘致
- 公共交通による周辺町の観光資源を周遊する滞在型観光の促進
- 県指定文化財達磨寺方丈の修復とアクセス性の向上

■ 安全・安心でゆとりある生活空間の形成

- 久度地区における公共空間の確保による防災・減災機能の向上
- 過去の水害を踏まえた施策の実施
- 大和川ふれあい広場やジョギングコースなどを活用した健康増進、広域交流による賑わいの創出

王寺駅周辺地区まちづくりイメージ図

大和川河川敷を活用した賑わいづくりの創出

国道25号の整備効果の検討

公共空間の確保による防災・減災機能の向上

王寺駅電車留置線部を含む駅周辺の再整備の検討

王寺駅

国道25号

雷丸ロード

- ・街区の再編や高さ規制の緩和による低未利用地の有効活用
- ・新たな商業・業務(起業支援・テレワーク等)・居住・医療・福祉機能の集積
- ・過去の水害を踏まえた施策の実施
- ・宿泊施設の誘致と滞在型観光の促進

国道168号

国道168号の無電柱化の推進

達磨寺

達磨寺方丈の修復とアクセス性の向上

